

母と子の関係から読み解く源氏物語

～紫式部からの消息～

源氏物語五十四帖は、帝の皇子光源氏が、多くの女君たちと織りなす愛と政治の物語。日本の古典文学史上の最高傑作です。今回の連続講座では、源氏物語に多く描かれている母と子の関係に注目し、現代にも通じる普遍的な親子の関係を追及してみたいと思います。「光る君へ」の平安時代に思いを馳せ、原文の朗読・現代語訳を行うことで日本語の美しさを味わいながら、源氏物語を新たな感覚で学んでみませんか。

第1回

2月5日(水) 9:30～11:10

『明石の姫君の実母、明石君とその母明石の尼君』

第2回

2月19日(水) 9:30～11:10

『紫上とその養女明石の姫君』



末とほき二葉の松に引き別れ
いつか木だかき影をみるべき
(明石の君)

●講師：竹内 寿恵子（1974年日本女子大学文学部国文学科卒業）

2015年6月武蔵野市主催「ジェンダーの視点から読む源氏物語」の講師を務め、現在に至るまでむさしの男女平等推進市民協議会、桜楓会各支部、地方自治体、桜楓カウンセリング研修会、有料老人ホームで源氏物語を講演。特に登場する女君の心理描写に力点を置き、時代背景や原文講読等も取り入れ、現代に通じる人間の在り方にも言及する講義内容は定評がある。

●定員：30人(先着・事前申込制)

●場所：桜楓2号館303・304号室

1回のみ受講可

どなたでも受講できます

●受講料：1講座のみ 2,500円(税込)  2講座連続 4,000円(税込) 

※QRコードよりクレジット決済

●申込：下記QRコード および 桜楓会HPより

※申込締切 第1回 1月29日(水) 第2回 2月12日(水)

ご入金をもって申込完了とし、返金は致しません

2講座連続受講料は1月29日(水)までにご入金ください

お申込はこちらから

桜楓会

検索

右のQRコード →
または桜楓会HP
からお願いします



お問い合わせ

(一社)日本女子大学教育文化振興桜楓会
収益事業部門 施設サービス部
ofu2gokan@atlas.jwu.ac.jp

